



チャレンジ 課外活動



紅翔祭を盛り上げる吹奏楽部

平成17年度公認団体及び同好会

区分	部員数
スポーツ部	陸上競技部 ★ 22
	軟式野球部 17
	サッカー部 19
	バドミントン部 ★ 14
	バスケットボール部 ★ 18
	男子バレー部 14
	女子バレー部 9
	水泳部 6
文化部	硬式テニス部 29
	茶道部 21
	吹奏楽部 19
	軽音楽部 23
学術研究部	ダンス部 21
	フィットネス研究部 9
同好会	国際交流メコン 14
	MMC 18
	ESS 13
	中国文化研究会 15
	コリア研究会 27
	硬式野球部 20
	映画鑑賞 12
	EM1研 6
	knock outs 13
	n-VIC 14
	邦楽部 9
	EEC 11
	アムネスティ・U.I.S 5
	ロシア研究会 14
	アウトドアサークル 6
	fifty-fifty 8
	ACTION 30
	フットサル 6
	空手道 5

★強化指定部

(4月1日現在)

学術研究活動などの課外活動にも積極的に参加し、卒業後に到来する社会生活に必要な豊かな情操と健全な心身を育んでくださることを期待しております。そこで、このような課外活動を推進するために、全学生、教職員が加入する



情報システム学科・教授
学生部長 赤木 敏子

学友会組織がもたらされております。今年度の本学の課外活動団体を左表に示しました。公認団体と同好会に大別され、公認団体はスポーツ部、文化部、学術研究部に分類されております。例年5月に開催されるスポーツ大会、10月に開催される学園祭(紅翔祭)、日常の公認団体の活動など学友会全体の活動は、皆さんが納めた会費の他に、大学や父母会からの活動補助費、各種企業等からの寄付金などによって支えられております。課外活動をしている学生は延べ487人です。高校時代からやっていた競技を、スポーツ推薦入試により入学して続けている学生もおります。

入学後に未経験の課外活動にチャレンジして、新たな自分を発見した学生もおります。本学では学業はもちろん、一生懸命に課外活動に取り組んで優れた成績をあげた学生

にも、表彰奨学金制度で支援しています。学生の皆さんが課外活動に積極的に参加し、上級生と下級生、現役とOB・OG、他学科、他大学、さらには地域の人々、他国の人々との交流を通して、より豊かで有意義な学生生活を過ごされることを願っております。



都市対抗予選に初挑戦

より有意義な学生生活を

CONTENTS

2・3面

主な課外活動紹介
表彰奨学金授与一覧表
インターシップ体験報告
協力企業一覧

4面

私の研究テーマ(新企画)
日本経営教育学会報告

5面

提携校からの便り
情報システム学会その後
お薦めBook(新企画)

6面

「日韓国際交流シンポ」案内
公開講演会報告
第1回オープンキャンパス
NUIS-LIVE 開く
本学見学(4-8月)
後期学事日程
原稿募集メール・アドレス開設

7面

10/22・23紅翔祭案内特集
鈴木健二氏を招き文化講演会
みずぎ野クリーン大作戦

8面

スピーチコンテストに参加して
国際交流インストラクター報告

躍進！ 課外活動

表彰奨学金授与者数一覧(課外活動部門)

年度	人数	活動内容
平成7年度 (学業及び課外活動で優れた者)	4	
平成8年度 (同)	8	
平成9年度 (同)	12	
平成10年度 (同)	12	
平成11年度 (同)	8	
平成12年度 (課外活動功労者)	5	学友会 陸上競技
平成13年度 (同)	3	学友会 韓国・朝鮮語スピーチコンテスト オラトリカススピーチコンテスト(HESSA)
平成14年度 (同)	2	バドミントン 陸上競技
平成15年度 (同)	2	2002サッカーW杯(新潟) 語学ボランティア 陸上競技 学友会(団体)
平成16年度 (同)	1	バドミントン(団体)
平成17年度 (同)	1	がんばる新潟コンチネンタル杯学生英語スピーチコンテスト バドミントン(団体)
個人計	66	
団体計	3	

バスケットボール部

情報システム学科3年 大桃 慶大 主将

走るバスケットに徹し2部昇格

今年の春の北信越大会で、バスケットボール部は当初の目標だった2部昇格を達成しました。去年、一昨年とチャンスがあったもののあと少しのところまで結果を残せなかったのです。自分たちのチームカラー「走るバスケット」を追求してきたことが2部昇格につながりました。

10年前の部発足当初は、部員が13人程度で少なく、個人の能力を伸ばす練習しかできませんでした。バスケットはチームスポーツなので、個人の能力が伸びても試合ではそれをうまく生かせない、試合で結果が残せないのが、他の大学との練習試合やそのような誘いはありませんでした。しばらくはチームとしての全体練習ができない環境で、他の大会でも思ったような成績をあげられない時期が続きました。

しかし、今年は1年生の新入部員が6人加わって全メンバーが18人(マネージャー4人含む)となつて活気が出るようになり、チームに良い刺激が生まれました。

今年度は、まず秋の北信越大会(10月)でインカレ出場が目標。そして来年の春には、念願の1部昇格を目指しチーム一丸でがんばります。

(強化指定部)

バドミントン部

情報システム学科3年 長谷川 翔 主将

男女共にインカレを目標に

バドミントン部は開学と同時に発足した伝統チームです。初めての対外試合の挑戦は翌平成7(1995)年の第43回中部学生バドミントン選手権大会でした。

現在、部員は男子14人女子5人で、週6日間、放課後を中心に体育館で活動しています。私たち部の一番の目標はインカレに出場することです。その目標を達成するため日々きつい練習をしています。苦しくもみんなが声を出し楽しく集中して練習に励んでいます。

昨年、男子は団体とダブルスで初めて千葉ポートアリーナで開かれたインカレに出場しました。団体は1回戦で法政大学と対戦し0-3で敗退、かなりの実力差を感じました。ダブルスは1回戦に近畿大学2-0で快勝。2回戦では日本大学と対戦、0-2で敗退し悔しい思いをしました。

今年のこれまでの主な大会結果は、第49回北信越大学選手権大会(4月)で男子団体1部3位、女子団体1部4位。第54回中部大学中部学生選手権大会(5月)で男子団体ベスト4、女子団体ベスト8、男子ダブルスベスト8とますます健闘しています。

(強化指定部)

スポーツ推薦入学者 種別一覧表
00年度(H12年度)～05年度(H17年度)

受検年	学科	陸上競技	バドミントン	バスケットボール	バレー	サッカー	総計
2000	文化システム	1			2		3
2000計		1	2	2	2		8
2001	文化システム	2		1			3
2001計		4	3	2	1	1	11
2002	文化システム	1					1
2002計		5	2				7
2003	文化システム	5	2	2			9
2003計		5	4	2			11
2004	文化システム	1	1	2		1	3
2004計		1	2	2		1	6
2005	文化システム		2	1			3
2005計		1	3	2		1	7
2005計		1	5	3		1	10
総計		18	18	11	3	3	53

「働く現場」から体験報告



明和工業

情報文化学科3年 中沢 新一

今回受け入れていただいた明和工業環境分析室は、主に環境分析、試薬の調合を業務としていました。今までの私にとって想像すらつかない世界であり、ここで働くことに大きな不安がありました。しかし、社員の方の指導を受け、積極的に質問することによって、日増しに作業の流れをつかみ、当初の不安が仕事への興味と変わっていきま

職種選択の幅が広がる

分析室の社員の約4割はこの分野専攻の人ではないのですが、充実した毎日を送っています。インタ

ホテルオークラ新潟

情報文化学科3年 小泉 佳奈子

私は、サービス業界に興味があり、インターンシップを通してホテルオークラで就業体験をさせていただきました。レストランやホテル等でアルバイトとしての経験はあるのですが、実習生という立場ではまだ違うものを感じました。中国料理レストランでの実習先でのサービスはとて

「働く」ことを考え直す

社員の中には私と同じ年の方も多くいて、社会人として敬語を立派に使いこなしている頼もしい仕事姿は、とても

写真は上から明和工業、日本ファシリティ、ホテルオークラ新潟、県庁国際交流課

着々と伝統づくり

硬式野球部

情報システム学科3年 中原 祐哉 主将

発足2年で大きく飛躍
硬式野球部は、2年前に現在の4年生が硬式野球同好会として設立したことに始まります。設立当初のメンバーはわずか8人で、試合ができる人数でなく、道具も無いような状態で、まさにゼロからのスタートでした。出身高校や知人から道具を譲ってもらい練習が始まりました。冬を越して昨年春、新入生はマネージャーを含め10人を超えました。そして、初めて練習試合をすることになりました。対戦相手は日本歯科大新潟歯学部。6月に地元の球場で、1-6で完敗するというほろ苦いデビューとなりました。



吹奏楽部

情報文化学科3年 佐藤 佐奈江 主将

学内外の舞台でコンサート
吹奏楽部は、本学開学の1994（平成6）年の発足当時は、楽器の数や種類も少なく、合奏でメロディーを重ねていくときのバランスに苦労しながらの練習でした。現在の部員は19人となりましたが、さらに構成メンバーを増やして学内外のコンサートや大会に挑戦しようと思っています。

今年度の活動は、4月の入学式の校歌演奏からスタートしました。校歌の式典での演奏は、昨年から始まった新しい取り組みです。在学生や新入生の皆さんに校歌を知っていた、良い機会となりました。

5月には、デイサービスセンターでの演奏

そしてまた冬を越して春が来るころに、私たちの進む道を決めるときがやってきました。私たちは今年から新たな目標として社会人野球を選びました。加盟が認められ、都市対抗予選では2回戦から出場し対オール長岡クラブに12-6で初勝利、準決勝ではパシオーネクラブに0-8で敗退しましたが県ベスト4となりました。クラブ選手権では2回戦でファイティングスピリットに10-0で快勝し、北信越大会に出場しました。北信越では1回戦でオール飯豊に3-14と敗退しましたが、まずまず、いや私たちににとっては素晴らしい活躍といえる成績を残すことができました。現在の部員は22人となり、毎週月、水、金に大学グラウンドなどで気合を入れてボールを追っています。応援よろしくお願いします。

会と、新入生歓迎コンサート、7月には、サマーコンサートを行いました。デイサービスセンター「はあとふるあだご坂井東」での演奏会は、私たちが初めて地域の方から依頼をいただいていた演奏会でした。地域とのつながりを実感することができました。

8月には、県内の大学サークルが演奏を披露する大規模な演奏会があります。参加校は新潟大、新潟産業大、新潟医療福祉大、上越教育大、長岡技術科学大、長岡造形大、長岡高専、それに本学の8校で、他大学との交流を深め楽しく参加しています。

学外のさまざまな場所を舞台にした演奏会で人と出合い、そこで得られる絆や思い出を増やして、活動の場を広げていきたいと考えています。

協力企業一覧（順不同）

株式会社博進堂
株式会社新潟フジカラー
東芝ホームテクノ株式会社
富士通フロンテック株式会社
株式会社東陽理化学研究所
株式会社新潟日報社
株式会社新潟放送
株式会社BSNアイネット
株式会社日本ファシリティ
株式会社新潟インターネットサービス
サイバーコム株式会社
株式会社富士通新潟システムズ
株式会社新潟県農協電算センター
株式会社ビット・エイ
亀田製菓株式会社
味の素システムテクノ株式会社
東芝情報システム株式会社
株式会社東映ホテルチェーン 新潟東映ホテル
セコム上信越株式会社
新潟商工会議所
新潟県庁
新潟市役所
新潟市立沼田図書館
新潟市亀田総合体育館
第四銀行株式会社
北越銀行株式会社
株式会社原信
新潟日産自動車株式会社
日産プリンス新潟販売株式会社
株式会社第一印刷所
株式会社タカヨシ
株式会社北都
明和工業株式会社
イワツキ株式会社
株式会社エフエムラジオ新潟
新潟ゼロックス株式会社
長岡都市ホテル経営株式会社
株式会社ホテル新潟
株式会社新潟グランドホテル
株式会社ホテルオークラ新潟
株式会社雅苑
社団法人新潟県経営者協会
NPO法人虹のおと
特定非営利活動法人H&Dエディケイショナル

インターンシップ

日本ファシリティ

情報システム学科3年 小川 美沙希

私は2週間、日本ファシリティに学外実習に行ってきました。仕事の内容は、パソコン教室で生徒さんに教えたり、テキストを実際に自分でやりながら校正したり、本社で書類やチラシ、ホームページ（HP）の作成などをしました。

仕事をしていたら、自分では分かっていなかったつもりでも、やっているうちに新しい発見があったり、曖昧なところをはっきりさせたりできて、ためになることばかりでした。逆に生徒さんに聞かれたところは、私自身の勉強にもなりました。

アルバイトとは大違い

仕事をしていたら、自分では分かっていなかったつもりでも、やっているうちに新しい発見があったり、曖昧なところをはっきりさせたりできて、ためになることばかりでした。逆に生徒さんに聞かれたところは、私自身の勉強にもなりました。

県庁国際交流課

情報システム学科3年 星野 雅大

これまで、「働く」ということを知らず、このまま卒業していいのだろうか、今から「働く」とを感じたい、ということを実習を志望した理由です。

現在、日本はさまざまな食料や資源を輸出入しており、それなしでは私たちの生活は成り立たないといえます。国際交流は決して軽視できないものです。こうした背景から、同課では環日本海を中心とした国際交流の促進を図るための企画・調整業務などを行っています。経験させていただいた業務は交流のためのホームページ

「情報を正確に」を学ぶ

今回の学外実習を今後の就職に向けた活動や生活に生かしていきたいと思います。

私の専門分野は防衛経済学です。防衛費や戦争が経済成長や家計の消費、企業の投資にどのような影響を与えるかについて実証的に研究しています。最近(幅広い意味での)行動経済学というフレームワークから家計の消費行動について研究していますが、それをいかに防衛経済学と融合させるかが課題です。

行動経済学？結婚を例に説明しましょう。経済学で想定される経済人は、合理的で、自制的で、計算高い生き物として描かれています。したがって、愛しているか愛していない

「防衛経済学」

情報文化学科・助教授 安藤 潤

ないかだけに左右されず、「自分と結婚相手が予想される平均的な寿命をまっとうした場合、現在及び将来において、私がこの人との結婚生活から得られる幸福感(満足度)は最大

化されるだろう」などと計算した上で人は結婚することになります。

しかし、私がこの新渇で耳にした多くの話では、燃えさかる恋の炎に身も心も焼きつ

くし、冷静さを忘れた男女二人が「結婚するのならこの人しかない」と思い込んで結婚してはみたものの、「結婚してから初めて相手のこんな姿を知った」という、いわゆる

情報の非対称性という問題も発生し、数年後「なぜあんな人と結婚したのだろうか」、「あのときあの人と結婚しておけばよかった」という悔恨あるいは痛惜の念を抱くようになる

るケースのほうがむしろ圧倒的です。

このように感情的な行動に走り、結果的に後悔するという現実の人間に近い経済人を想定することで、人間の経済行動をよりうまく説明しようというのが行動経済学です。

ちなみに、そこからは、多くの人々によって繰り返されてきた結婚という過ちを(少なくとも自分自身は)あえておかすべきではないという結論を導くことができますが、

多くの人に納得してもらえません。まだまだ課題は山積です。

私の研究テーマ

「ニッポン放送がライブドアの子会社になると、企業価値が毀損(きそん)される・・・」。

これは、今年の2月～3月にかけてライブドアとフジテレビによるニッポン放送の株式争奪戦のさなか、ニッポン放送社長の亀測氏が言った言葉です。なぜニッポン放送はライブドアの子会社になると価値が下がるのでしょうか。その根拠は何でしょうか。不思議ですね。

そもそも皆さんは、「価値」について考えたことがありますか。例えば、手元にあるゲームソフトの価値って何でしょうか。それを捨ててもよいと思うなら、価値はゼロと考えられます。友

「企業価値の推定」

情報システム学科・助教授 青淵 正幸

達に一、〇〇〇円でなら譲ってもよいと思うなら、そのソフトの価値は一、〇〇〇円といえるでしょう。また、そのソフトを絶対に手放したくないと思うなら、その価値は無限大となります

す。価値とはモノへの値付けといえます。しかし、価値を正確に測るモノサシはありません。なぜなら、ソフトに対するあなたの価値(値付け)は、時の経過とともに変化するからです。

私たちは自らの貯蓄を企業への預け、その預けた額に対する見返りを要求します。銀行預金に対する利息も、その見返りの一種といえます。では、あなたはどの企業に貴重な貯蓄を預け

たと同様に企業価値を測るモノサシはありません。前出の亀測社長は、どのようにしてニッポン放送の価値を見積もったのでしょうか。きつと何らかのモノサシを作って測ったに違いありません。

私の研究内容は、企業価値の推定です。どの企業を対象としても企業価値を測定できるモノサシがきつとあるはず

です。企業が作成する経営成績表(財務諸表といえます)を参考にしながら、精度の高いモノサシを作ることを目指して、研究を重ねています。

新潟中央キャンパスで「日本経営教育学会」

情報システム学科・助教授 青淵 正幸

第2回関東部会を開催



本学の佐々木講師も
研究報告

本学の新潟中央キャンパスで8月6日、「日本経営教育学会」第2回関東部会が開催されました。

同学会は有能な経営者・管理者を育成するための経営教育を研究・実践する学会で、1979年に発足しました(事務局・東京千代田区、東京交通会館、財団法人企業経営通信学院内)。全国に5地域別の部会が組織され、関東部会は年4回開催されて、同地域の大学や企業の研究者が日ごろの研究成果を報告、交流しています。

当日は首都圏や中京圏から大学や企業などから多くの研究者が参加し、また地元の新潟経営大学や新潟産業大学の先生方も参加されました。

午後1時30分から約3時間にわたり、3名の研究者による報告が行われました。本学からは

情報システム学科の佐々木桐子先生が、経営工学におけるシミュレーション技術の教育現場への活用方法について研究成果を発表しました。新潟バイパスや本学食堂を事例としたものです。

「身近な題材をモデルにしたもので大変すばらしい」との声が多く参加者から聞かれました。

他の2報告は、庄司祐子氏(NPO法人MBAキャリアデザイン研究所)による「日本型人事制度の導入―成果主義導入のケース」。および、内田賢氏(東京学芸大学)による「情報サービス産業の経営課題」の報告がありました。

提携校からの便り

日本人の会話のなかで、一番よく使われるのは「ヤッパリ」という言葉ではないかと思えます。森本哲郎の「日本語表と裏」(1998、31-32、新潮文庫)によると、「ヤッパリ」は「あなたを始め、みんながそう思っているように、世間一般の人たちが考えているように」自分もそう思うという意味で、日本語の特徴を表す言葉だそうです。私も6カ月間、日本で生活しながら、思わず「ヤッパリ……」という言葉を使うようになりました。

昨年9月に、初めて韓国語特講を受講している学生たちに出会った時、びっくりしました。質問に対してなんの返事もないし、面白い話にもちっとも笑わないで、私から目を避けている学生たち。どうすればいいのか、悩みました。佐々木先生に相談したら、「最初の授業では、学生の反応、特に個別的な反応はないかもしれませんが……、実は学生たちはとても明る

く、積極的です」と話してくださいました。

その後、時間が経つにつれて「ヤッパリ」そうだということを感じるようになりました。授業はもちろん、「紅綱祭」のときも、とても真面目で明るくて面白い学生の姿を見ることができました。新潟でこんな学生たちに出会って、本当によかったと思います。日本で一番楽しかったのは、何といっても授業の時間だったので、週に2コマしか授業がなかったのが、本当に物足りない感じがした。

私はとても旅行が好きで、度々一人で海外旅行や国内旅行に出かけたりします。昨年、訪問教員として新潟に行くことが決まっても、さっそく日本での旅行を計画していました。授業も一段落して、冬休みが始まるやいなや、リュックサックを背負って、あちこちに出かけました。冬なので雪と風で寒くて、ちよつと寂しい感じもしましたが、どこへ行っても「ヤッ

「ヤッパリ…」

11月に初の研究発表大会「情報システム学のあり方」

情報システム学科・教授 竹並 輝之

本誌、前号に情報システム学会設立の記事を書きましたが、その後、賛助会員として、日本アイ・ビー・エム、日本ユニシス、オージス総研、東京電力などの支援を得て、今年度の事業活動を展開しています。11月26日(土)には、第1回

情報システム学会での後

また、会員同士の交流の場として、ブログを使った情報発信の場を、

「情報システム学会」というテーマで、東京国際大学早稲田サテライトキャンパスにおいて開催します。参加者募集中です。

学会内に3つの研究会を立ち上げました。「人間の情報活動としての業務プロセスの可視化」、「生圏情報システム」、「シンビオティック情報システム」というテーマで、研究成果は、研究発表大会などで発表されます。さらに、オンラインジャーナルの形で公開される学会誌への論文投稿も募集しています。

慶熙大学招聘講師 徐 希姫(ソウ・ヒジョン)



「ヤッパリ」美しい景色ばかりで、口から「すごい」という言葉が自然に出るほどでした。日本は地震と台風などの心配もありますが、本当は自然に恵まれていて、どこにカメラのレンズを当てても、絵葉書になるような美しい国だと思います。

に新潟に着いた次の日からお世話になった山本課長、親切にいろいろなことを教えてくださった広瀬先生と申先生、地震の時、車で家まで送ってくださった臼井先生、いつも笑顔で明るく挨拶を交わしてくださった6階の先生方、本当にありがとうございました。

次いで黄金分割が現れるものに触れる。自然界の中からは植物の種や葉、動物は人間(たとえば人間の臍の位置は身長を黄金分割する)。工物からは建築(ピラミッド、神殿、絵画(例…ダビンチのモナリザ))そして、文学、音楽に及ぶ。また西欧人が黄金分割にいかにも熱中したかが語られる。美しいものなんでも黄金分割で説明しようとする行き過ぎもあったようだ。美しいものを鑑賞しながら、その数理を探究する好奇心を満足させる。そんな機会を持ちたいと思ったら、この本を読んでもよい。数学を読む楽しさを教えてくれる本である。

情報システム学科・教授 渡辺 忠

「希望格差社会」

山田昌弘著 筑摩書房 2005年、1900十税

かつて、日本社会は大多数の人が中流意識をもつ平準化された社会でした。しかし、今日の日本社会は格差が拡大して、そのため社会が非常に不安定になっています。たとえば、池田小学校児童重傷事件や仙台市アーケード街トラック暴走事件には、将来に希望を持ってない人達の恨みと失望があります。

本書は日本社会が格差社会になり、将来に希望を持てる層と持てない層の分裂してしまったことを分りやすく書いています。読後感としては暗い気分になりますが、今の日本社会を知るためには必読の書です。

情報文化学科・教授 高橋 正樹

お薦め Book

「黄金分割：自然と数理と芸術」

アルブレヒト・ボイテルスパッヒヤー、ベルンハルト・ペトリ著・柳井浩訳

共立出版 2005年、2400円十税

学生証や免許証の縦横長さの比は1:1.618で、黄金比と呼ばれている。クレジット

本学の図書館では、毎年、学生に薦める本を教員から募っています。個性あふれる教員たちの紹介文は、図書館のWEBサイトにアップしてあります。ぜひ一度、アクセスしてみてください。今号ではその中の二つを紹介します。

<http://www.nuis.ac.jp/c/library/book/book2005.htm>

カードや新書版の本などにもこの比が使われている。線分をこの比率で分割したものを、すなわち約「0.618対0.382」は人々の美的感覚を魅了するといわれる黄金分割である。本書ではまず黄金分割の基本的な性質を述べた後、美しい形状と数の関係が語られる。数学の世界でこれほど多くの分野に黄金分割が姿を現すとは驚きである。解説は平易で高校の数学で十分読んでいくことができる。

11/26(土)「日韓国際交流シンポジウム」

今年「日韓友誼年2005」。日韓国交正常化40周年を迎え、両国で多彩な行事が行われています。本学では11月、「国際化時代における韓国語教育」をテーマに、日韓国際交流シンポジウムを開催します。多数の皆さんの参加をお待ちしています。

本学と韓国・慶熙大学国際教育院は、2001年に交流協定を調印いたしました。それ以来5回にわたり本学学生計45人を派遣し、また2人の韓国語教員を招くなど、着実な交流を積み上げてきています。

今回は交流のレベルをさらに高めるため、関心の高いテーマで初のシンポジウムを行います。本学は今年7月に駐新潟大韓民国総領事館の金光圭総領事を迎え特別講演会「最近の韓日関係と展望」を開いています。

- テーマ「国際化時代における韓国語教育」
- 月 日/2005年11月26日(土)
- 時 間/午後1時15分～5時30分
- 会 場/本学新潟中央キャンパス 9F(講堂)
- 日 程/
 - 1時00分～4時00分 学術講演会
司会：広瀬貞三(本学教授)
開会挨拶：武藤輝一(本学学長)
祝辞：金光圭(キム・カンギョ)
(駐新潟大韓民国総領事館総領事)
 - 専門発表
(1) 李定熙(イ・ジョンヒ)
(韓国・慶熙大学国際教育院講師)
(2) 油谷幸利(同志社大学教授)
(3) 金重慶(キム・ジュンソップ)
(韓国・慶熙大学国際教育院長)
(4) 波多野節子(県立新潟女子短期大学教授)
 - 4時00分～4時15分 コーヒーブレイク
 - 4時15分～5時15分 パネルディスカッション
コメントーター：申銀珠(本学助教授)
 - 全体討論

本年度 第1回 オープンキャンパス大盛況

今回は10月1日に開催



楽しい留学体験を説明

今年度の第1回オープンキャンパスが7月23日、本校(みずき野キャンパス)で開かれ、300名を超える高校生と父母に参加いただき、入試情報説明や模擬講義体験などが行なわれました。

まず本学の2学科のカリキュラムの特徴や入試情報などスクリーンを使った説明が行われ、特に入試要項の詳細な説明に参加者は熱心に耳を傾けていました。学食の無料サービスは大人気で、在校生によ

るキャンパス・プレゼンターとの楽しい交歓が行われました。

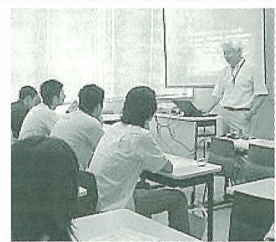
午後は自由選択による模擬講義を体験しました。コンピューター実習では実際にパソコンに向かって自分のホームページを作成。語学講義では外国人講師による英語と韓国語の授業が行われ、いずれの教室も満席になる人気でした。

また何でも相談できるフリーコーナーには、入試から就職まで質問が多く寄せられ、海外留学相談コーナーでも昨年留学を体験した在校生が楽しい海外経験などを説明して関心を集めていました。

目を輝かせ1日講義体験 NUIS-LIVE開く

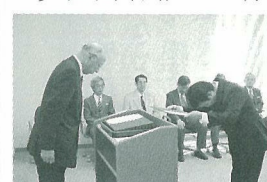
本学の特色ある講義を高校生や父母が1日受講体験する恒例のNUIS-LIVEが8月23日、本校で開かれ、多くの参加者がキャンパスライフの一端を楽しみました。

この日の講義内容は、情報文化学科が日韓関係論、異文化理解、資源と環境、南北問題といった科目、また情報システム学科ではネットワークコンピューティング、情報倫理、情報産業、情報社会論、人工知能入門などの科目の講義が行われました。また、大講義室では大学紹介や来年度入試の変更点なども説明され、参加者は熱心にメモを取るなどして聞き入っていました。



本年度9月卒業式が9月15日(木)に本校(みずき野)で行われました。

情報文化学科1名、情報システム学科11名、計12名の卒業生が、厳肅な雰囲気の中、武藤学長より学位記を授与されました。希望多き若者に幸あれ！



9月卒業式

本学見学(4～8月)

豊栄高校3年生/巻総合高校1年生/三条第3中学校2年生/長岡明德高校/分水高校2年生/海洋高校PTAと生徒/内野中学校3年生/新発田商業高校PTA/高志高校PTA/新潟東高校PTA/見附高校3年生/新井高校1年生/三条東高校2年生/中条高校1年生/高志高校1年生/2年生/新津南高校1年生/吉田高校1年生/有恒高校1、2年生/江南高校PTAと生徒/西新発田高校/三条商業高校PTA/燕高校1年生/十日町高校1年生

nuischannel @nuis.ac.jpを開設

新潟国際情報大学広報委員会では、校内教職員やOB・OGより、さまざまな活動の便りを募るため、専用メール・アドレスを開設しました。

皆さまから寄せられたお便りは、現役生や教職員だけでなくOB・OGの活動も含めて編集し、本学の広報誌やホームページで紹介いたします。どのような情報でもかまいません。さまざまな便りをnuischannel@nuis.ac.jpまでいただけるのを、広報委員会一同お待ちしております。

公開講演会「若者の就職観」

新潟中央キャンパスで 多数の父母が参加

本学エクステンションセンターの公開講演会が9月4日、新潟中央キャンパスの9階ホールで開かれました。講師に日本青少年研究所の千石保所長を迎え、「若者の就職観—わが子をフリーターにしたいくない」をテーマに話していただきました。ニート、フリーターなど不就労青少年の増加が大きな社会問題になっている折もあり、ほぼ満席となる200人ほどの父母らと教育関係者、一般市民が熱心に聞き入っていました。

千石氏は欧米と日本との教育、労働に対する基本認識、生活習慣や文化の違いなど多くの例を示しながら、資格化社会のこれからの就職は会社を選ぶか仕事を選ぶのか、個性や資格や積極性がより評価されること、仕事の範囲は限定しないこと、若者

を理解し相談できる人になることなどの重要性を強調しました。そして「差異」「限定・無限定」「意味ある他者」などのキーワードを示しま

した。さらに会場からの質問にも答えながら、個性や特徴をすかさず褒めて自信と積極性を付けさせること、メリハリを持つて褒めたり叱ったりすることなどが大切だと強調し、もつと若者を未来志向にさせなければならぬと話しました。

年間問題研究の第1人者で、弁護士。総理府(当時)の青少年対策本部参事官として手がけた「世界青年意識調査」は反響を呼んだ。1975年に(財)日本青少年研究所を設立。著書は「日本の若者・



アメリカの若者」「日本の高校生」(NHKブックス)「普通の子が壊れてい」(NHK出版)など多数。1978年、富山県生まれ。

平成17年度 後期学事日程

- 9月21日(水) 後期授業開始
- 10月22日(土) 紅翔祭
- 23日(日) 紅翔祭
- 11月13日(日) 推薦入学試験
- 12月20日(火) 冬期休業 ～1月5日まで
- 1月 6日(金) 授業開始
- 19日(木) 後期授業終了
- 21日(土) 大学入試センター試験
- 22日(日) 大学入試センター試験
- 23日(月) 後期定期試験 ～27日
- 2月 2日(木) 一般入試試験(前期)
- 3月 8日(水) 一般入試試験(後期)
- 15日(水) 春期休業
- 23日(木) 卒業式

2005 10/22(土)・23(日)

紅翔祭

テーマは「絆」

紅翔祭実行委員長をまかされることになり、とてもうれしく思っています。

昨年は実行委員の一員として先輩方の手伝いをさせていただき、仲間同士で協力することの素晴らしさ、ものごとを成し遂げたときの達成感を味わうことができました。

食品担当のお手伝いでした。出店する模擬店から集団食中毒が発生しないように管理するのが主な仕事でした。事前に食品衛生講習会に参加し、食中毒の危険性についての知識をつけ、出店団体を集めそれを説明する。また紅翔祭当日には、模擬店が販売する予定の検食サンプルを回収して食中毒を防止しました。今まで、何かに真剣に取り組んだことがなかった私にとって、紅翔祭を運営できたことは、とても良い経験になり、今でも忘れられない素晴らしい思い出です。

今年も、先輩方が運営した昨年以上に素晴らしい紅翔祭を目指し、精いっぱい努力していきたいです。実行委員の担当は会場、食、会計、広報、渉外の係で、会場係は出店団体と話し合い当日はレンタル品の貸し出しを行う、会計係は予算計上、広報係はポスター・チラシを作成、渉外係は協賛金回収で企業回り。どれも欠かせない仕事です。どれが欠けても祭りは成り立ちません。今年も実行委員の人数が減ってしまいました。15人くらいがベストで、多すぎても支持が回らず、少なすぎると一人一人にかかる負担がとても大きくなってしまいます。

そんなことにめげることなく、今まで以上に実行委員、学生、教職員の方々の力を合わせ、メインテーマである「絆」を、より深く強いものとしていきたいと思っています。

「絆」をより深く強いものに

紅翔祭実行委員長

情報文化学科2年

児玉 幸花

文化講演会

開催日／平成17年10月23日(日)

時間／13:00～15:00(開演13:00)

会場／新潟国際情報大学 体育館(定員500名)

講師／鈴木健二氏

演題／「感動のある生き方を求めて」

申込方法／はがきに「鈴木健二氏講演会聴講申込」

○郵便番号 ○住所 ○氏名 ○電話番号 ○年齢

○聴講人数(上限5名)をご記入の上、お申込みください。

宛 先／〒950-2292 新潟市みずき野3-1-1

「新潟国際情報大学 文化講演会 宛」



・受付順に入場整理券を郵送いたします。尚、先着定員(500名)となりしだい締め切らせていただきます。

☆この講演会は、父母会及びみずき会(同窓会)の後援事業です。

講師プロフィール

1929年東京生まれ。

52年NHK入局、国民的アナウンサーと親しまれ、あらゆる分野のテレビ番組に新境地を開拓し、その歩みは日本のテレビ初期の歴史と評価され、また朗読の名手としても知られた。テレビ大賞、日本ユーモア大賞、日本雑学大賞他多数を受賞。

88年退職後、請われて熊本県立劇場館長となり、文化振興基金制度を創立。

99年、青森県の熱心な要請を受けて県立図書館及び近代文学館の館長となり、毎年67全市町村を巡歴して読書普及運動を行い、全国初の組織「読み聞かせ運動支援センター」を県庁内に設けての展開は、日本中の注目を浴びた。さらに2004年3月、青森県との契約を解消し、新しい活動に入った。

著書は「気づばりのすすめ」「ありがとう物語」「新気づばりのすすめ」など人生論を中心に200冊を超える。生命尊重センター 円ブリオ基金 アドバイザー。

主な開催イベント(予定)

- ・ビンゴ大会
- ・お姫様抱っこ選手権
- ・紙飛行機飛ばし大会
- ・つなげる絆(写真展示会)
- ・スタンプラリー
- ・星の降る日
- ・オープンカフェ
- ・アームレスリング大会

- ・韓国映画の上映
- ・スケートボードビデオ会・試乗会
- ・スピーチコンテスト
- ・卒論展示
- ・ダンス
- ・中国民族衣装ファッションショー
- ・名刺屋
- ・ライブ
- ・模擬店多数 他

参加者募集！ 卒業生集まれ！ みずき野 クリーンアップ大作戦

開催日時

10月23日(日)

午前10:00 大学集合(受付)

午前10:30 作業開始

午前11:30 終了予定

開催場所

新潟国際情報大学周辺
(赤塚駅～みずきのニュータウン)

参加申し込み

当日参加も可能ですが準備の都合上、事前に下記アドレスまでご連絡ください。
dousou@nuis.ac.jp

その他

- I. 雨天中止としますが、要集合とします。
- II. ゴミ袋及び軍手は主催側で用意します。
- III. 参加者全員に記念品・昼食券を用意いたしております。

みずき会以外の方々、多くの在校生や地域の方々からの参加も大歓迎です。是非お声がけくださるようお願いいたします。

汗を流しましょう！

紅翔祭には多くの同窓生が、学生時代に学び生活したこの地に帰ってきます。秋空の下、奮ってご参加いただき、皆で気持ちの良い爽やかな汗を流しましょう！

みずき会(同窓会)企画

みずき会会長 高橋 毅

学生英語スピーチコンテストに出場して

情報文化学科4年

樋浦 千鶴



挑戦のたびに湧く意欲

私は、今年2月に新潟市の国際エア・リゾート専門学校で開催された学生英語スピーチコンテストに出場し、幸いなことに最優秀賞をいただきました。同コンテストは、がんばろう新潟AIR実行委員会の主催（新潟日米協会、JTB、TOEIC運営委員会など後援）で、毎年10月に行われていたのですが、今回は中越地震で2月に延期になりました。

私のスピーチは、「100円ショップ」に隠された影の部分がテーマでした。なぜ安いのか。また低価格がデフレを引き起こし労働条件を悪くします。さらに街の小売店に打撃を与えます。ただ100円ショップを否定しているわけではなく、皆が情報を認識し考える買物客になれば私たちの経済状況に自分自身で責任を取ることができるでしょう。このスピーチの原稿は「徹底解剖100円ショップ 日常化するグローバルバリエーション」という本を参考にしました。

コンクールでは賞をいただき、また私のスピーチを聞いて英語学習の意欲が湧いた、と言ってくださった学生さんがいたことがうれしかったのを覚えています。

私はこれまで、高校時代から続けて5回のスピーチコンテストに参加してきましたが、毎回さまざまな人のスピーチを聞くことが良い刺激となっており、さらなる学習意欲が湧いてきます。ですから、皆さんもぜひ、スピーチコンテストという機会を活用してレベルアップを目指して欲しいと思います。

多くを学んだ「国際交流インストラクター」

本学は（財）新潟県国際交流協会と協力し「国際交流インストラクター」を研修、養成し、夏休みに県立万代島美術館で開かれた写真展「地球を生きる子どもたち」で、小中学生を対象にした国際理解のためのワークショップを開催しました。前期中に研修を受け選ばれた実際の運営にあたる15人の本学学生には、7月26日に国際交流協会長の泉田知事の委嘱状が手渡されました。小中学校の総合学習や地域の学習会にも派遣され、地域の国際交流や国際教育に貢献、活躍することが期待されています。



子どもたちに分かりやすく

手探りでワークショップ

国際理解の橋渡し

情報文化学科4年 木村 紘子

「やってみたい？」——そう言われてから8月31日に委属期間を終えるまで気が付けばたった3カ月しか経過していない。「たった3」と思うのは私を含め共に国際交流インストラクターとして準備してきたメンバー全員が思ったことではないだろうか。学年も違うワークショップの素人学生が集まってテストやゼミ、その他もろもろある中で何時間も、時には終電まで準備を進めてきた。

「地球に生きる子どもたち」の写真展で、私たち学生が一体何を伝えられるだろうか。写真の背景を調べ、先生方にアドバイスをいただきながら、そこに「リアリティ」と異文化理解を基盤としたワークショップを形にしていこう。そうし

てできた手作り（手探り？）ワークショップには、年齢層も幅広く、小中学生から保護者の方、中学校教員の方まで参加された。

わくわくしながら世界地図を眺め、身近に世界があることに気付く子どもたちの顔。そして小さいながらも懸命に幸せや貧困、差別問題について考えること。さらにと差別的定義を言ってくれた小さな女の子には驚かされた。

ワークショップを終えてから、参加者が見る写真展を、自分に関係のないどこか遠くの「かわいそう」な出来事で終わらせず、その国際理解の橋渡しが少しでもできたことを願う。わずか1時間半のワークショップだったが、きっと子どもたちの記憶の断片に何かが残ってくれたことを願う。

彼らが成長し、大きくなってふと世界の問題に目を向けたとき、いつか参加したこの記憶が蘇ってくることを期待する。

たとえ今自分からなくても、あの時の「おにいさん」「おねえさん」が言いたかったのはこういうことか、と感じてもらえれば幸いだ。

今回のワークショップを通して、一番学んだのはおそらく私たちだ。20世紀における写真の意味や文化を語る際の留意事項、世界が一人ひとりとつながっていること、他者へ共感すること。形にする段階でおそらく私たちは多くを勉強した。

NUIS学生が学内のみに留まらず、もっと大学の外とつながるよう、もっと社会へ発信していきたい。今後は是非継続できたらと思う。また、卒業してからも、それは一つのスキルとして自分に残り、今後もさまざまな場面で生かしていけるだろう。興味を持った学生はこれからどんどんチャレンジしてみよう。

湧 YUUGEN 源

編集後記に代えて

広報委員長 永井 武

突然の衆議院の解散で、9月上旬は衆議院議員選挙の季節となりました。

日本は37万平方キロの土地に1億3000万人が住み、人口密度は世界平均の約10倍です。しかも鉱物資源に恵まれます。石油、石炭、鉄鉱石その他の資源は100%輸入して、今の日本が存在します。

日本人は明治以来、列強の属国にされないという危機感を持ち、教育、勤労に努めました。二次大戦後は、欧米の技術とアイデアを学び、二次産業を発展させ、土地や資源が乏しいのに、経済的には欧米に追い付きました。しかし、まねするアイデアが欧米になくなったとき、日本人が自分でも他人が欲しいものを考え出さなくてはならなくなりました。

そのとき今までの教育すなわち、運動会で全員手をつないでゴールすることに象徴される教育では、今の日本にそぐわないことに経団連の人々は気がつきました。現代社会が求める人材を育成するカリキュラムに知恵を絞って変えていくことを求めています。しかし、文科省の規制の中ではそれができていません。どこから改革するのか、国、県、組織、個人レベルで考え、明治維新のように改革できるものはすべて改革することが求められます。官主導の改革はありません。

国民が改革を実行する最も大切な手段は選挙です。しかし、選挙の投票率が低く推移してきたのは、今の日本人の危機感のなさの表れであり、そして改革を遅らせている原因であり誠に残念です。

高校長推薦・社会人入試

指定校制 公募制 スポーツ 社会人

出願期間：17年11月1日(火)～
17年11月8日(火)
出願期間内消印有効

試験日：17年11月13日(日)
(指定校制は除く)

試験：面接・小論文
(指定校制は除く)

※詳細は平成18年度応募要項で確認してください。

◎入試と奨学金の詳細については事務局までお問い合わせください。

TEL 025-239-3111 E-mail gakumu@nuis.ac.jp